

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立おなづか小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・低学年…授業において、ひらがなや漢字をきちんと扱い、「とめ」「はね」「はらい」や字のバランスについて年間を通じて丁寧に指導することで、ひらがなや漢字の習得につなげることができた。
- ・中学年…物語文や説明文をしっかりと音読させ、文章全体の組み立てを捉えさせることで、文章理解につなげることができた。
- ・高学年…毎日の家庭学習を活用し、漢字学習に継続して取り組ませることによって、一定の漢字を書く力を習得させることができた。

(2) 課題

- ・低学年…言葉の理解力の個人差が大きい。また、表現したい思いがあっても、表現力にも差がある。日記を毎週書かせるなど、日頃から文章を書くことに慣れさせる必要がある。
- ・中学年…漢字の読み書きや言葉の学習などの基礎的なところに課題がある。授業において筆順等を含めてきちんと扱い、家庭学習でも補完していく必要がある。
- ・高学年…文章を書くことに課題がある。目的やテーマに応じ、基本的な文章を書く力を身に付けさせる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	6領域中2領域で目標値を下回った。 漢字の読み書き、言葉、物語の内容読み取りに課題がある。		
第5学年	6領域中4領域で目標値を下回った。 漢字の読み、物語や説明文の内容読み取り、スピーチ、文章を書くことに課題がある。	全体的に目標値とほぼ同程度まで達している。 文章を書くことについて、課題がある。	
第6学年	6領域中3領域で目標値を下回った。 言葉、物語や説明文の内容読み取り、文章書くことに課題がある。	全体的に目標値を下回っている。漢字を書くことや文章を書くことについて課題がある。	全体的に目標値を下回っている。漢字を書くことについて課題がある。

(2) 分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉の理解力や語彙力に課題がある。また、片仮名の定着や、拗音・撥音・促音の表記に課題がある。	文章を書く表現力に課題がある。生活経験と結び付けながら言葉の理解を深めるようにしていく必要がある。	物語文や説明文を読み取る学習を意欲的に取り組むことができる。日頃から学習にすすんで取り組むことに課題がある。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を下回っている。漢字の読み書き、言葉、物語の内容読み取りに課題がある。	目標値をやや上回っている。物語や説明文の読み取りはほぼ目標値に達している。文章を書くことについても目標値に達してはいるが課題がある。	目標値をやや下回った。日頃から学習にすすんで取り組むことに課題がある。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5年生：目標値をやや下回っている。漢字の読みにやや課題がある。 6年生：目標値をやや上回っている。言葉の学習にやや課題がある。	5年生：目標値をやや下回っている。説明文の内容読み取り、スピーチ文章を書くことについて課題がある。 6年生：目標値を下回っている。物語や説明文の内容読み取り、文章を書くことに課題がある。	5・6年生とも、目標値を下回っている。日頃から学習にすすんで取り組むことに課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 漢字学習について、筆順や「とめ」「はね」「はらい」や字のバランスについても丁寧に指導する。そして、家庭学習も活用し、反復練習で力をつけていく。 - 授業の中で読書や読み聞かせ活動に取り組み、語彙を増やしていく。	- 毎回の授業や家庭学習で音読に継続して取り組む。 - 必要に応じて動作化や写真や実物の提示を行う。 - 順序を押さえながら読み取るように指導する。 - 相手意識をもたせて書かせる。 - 家族や友達に読んでもらったり友達同士で読み合ったりよさを認め合ったりさせる。	- 読み聞かせを積極的に行う。 - ペアやグループ学習などを取り入れ安心して学習できるようにする。 - 生活文や学習したことを紹介する文を書く活動を計画的に行う。 - 日記を毎週書かせるなど、日頃から文章を書くことに取組みさせ、自分の考えや思いを表現することに慣れさせる。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 漢字指導について、年間を通じ、筆順等はきちんと授業内で扱うようにする。それに加えて家庭学習でも取り組むなどさせ、習熟を図っていく。 - 言葉の特徴や使い方について、教科書に出てくる言葉については国語辞典等も活用しきちんと取り	- 物語文、説明文とも、音読を十分に行い、文章の内容の中心を捉えさせるようにする。また、段落ごとの内容のまとまりや、段落相互の関係に気付け、文章全体の組み立てを捉えられるようにする。 - 文章を書く時には「初	- 学習内容の関連図書を紹介し、様々な分類の本に触れさせ、読書の幅を広げさせる。 - ペアやグループ学習を取り入れ、友達と交流しながらすすんで学習するようにする。 - 日頃から文章を書くことに取組みさせ、自分の考

扱い、確実に意味を押さえさせる。 ・ 授業や家庭学習でしっかりと音読をさせることで、基本的な文章の理解につなげる。	め・中・終わり」の構成に気を付けて、文章を書かせるようにする。 ・ 話し合い活動では、自分の意見をきちんともち、互いの考えの共通点や相違点を考え、話し合わせる。	えや思いを表現することに慣れさせる。
--	---	--------------------

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 毎日の家庭学習を活用し、漢字学習に継続して取り組んでいく。 ・ 朝読書に取り組み、語彙を増やしていく。 ・ 分からない言葉や漢字をすぐに調べる習慣を身に付けさせる。 ・ 自分の書いた文を読み返し、主語と述語を明らかにして、文章を書くようにさせる。	・ 物語文の内容を正しく捉えさせるために、十分音読させた上で、きちんと叙述を基にして考えさせるようにする。 ・ 説明文の読み取りでは、それぞれの段落がどのような役割をもち、それらがどのような関係になっているのかを捉えられるようにする。 ・ 話し手の意図や自分の考えとそれを支える理由を明確にして聞いたり、話したり、書いたりする活動に取り組ませる。 ・ 日頃から文章を書くことに慣れさせる。目的やテーマに応じた文章を書く機会を設け、簡単な文章を書けるようにさせる。	・ 学習内容の関連図書を紹介し、様々な分類の本に触れさせ、読書の幅を広げる。 ・ ペアやグループ学習を取り入れ、友達と交流しながら学習できるようにする。 ・ 学習のめあてを明確にして、単元の始めに身に付けたい力を児童に認識させる。 ・ 家庭学習などで日常的に文章を書くことに取り組ませ、自分の考えや思いを表現する心理的ハードルを下げたり、事実と感想とを意識的に区別して書く習慣を身に付けさせたりする。